

令和8年度

保育所てふてふ

全体的な計画

保育理念		1. 子どもの最善の利益を考慮します 2. 子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障します			
保育方針		豊かな人間性を持った子どもを育成する	保育目標	健康で明るく元気な子・思いやりがあり仲間を大切にすることにも一生懸命取り組む子	☆幼児期までに育ってほしい10の項目 ・健康な心と体 ・自立心 ・共同性 ・道徳性・規範意識の芽生え ・社会生活との関わり ・思考力の芽生え ・自然との関わり・生命尊重 ・数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ・言葉による伝え合い ・豊かな感性と表現
☆保育所保育に関する基本原理 児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図る。保育所保育指針に基づき、養護及び教育を一体的に行なう。地域との連携を図る。		☆保育時間など 2・3号認定/基本保育時間保育標準時間 7:00~18:00 保育短時間 8:30~16:30		☆主な行事 春の親子遠足・虫歯予防デー・てふてふ祭り・個人懇談 敬老の日・運動会・秋の遠足・クリスマス会・お正月遊び お別れ遠足・卒園式 他季節の行事	
保 育 内 容					
		乳 児		1 歳 児	
保 育 目 標		○個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う		○安心できる保育者との関係の下で自分でしようとする気持ちが芽生える	
養 護	生命の保持	○人への基本的信頼感が芽生える ○一人一人の生活リズムが整うよう配慮する		生命の保持	○特定の保育士との信頼関係が更に深まり愛着関係が育まれるように接する
	情緒の安定	○発達過程などを的確に把握し応答的なふれあいや言葉掛けを行う		情緒の安定	○スキンシップにより、保育士との関わり心地よさや安心感を得るように接する
教 育 及 び 保 育	健やかに伸び伸びと育つ	○清潔になる事の心地よさを感じる		健康	○身の回りの簡単な事を自分でしようとする気持ちが芽生える
	身近な人と気持ちが通じ合う	○特定の保育士との関わりにより信頼関係が生まれる ○安心できる人的及び物的環境の下で感覚の働きを豊かにする ○語りかけられることにより声を出したり応えようとする		人間関係	○保育士や友達に関心を持ち真似をしたり、自ら関わろうとする
				環境	○好きな玩具や遊具に興味を持って関わり様々な遊びを楽しむ
	身近なものとの関わり感性が育つ	○土や水等の素材に触れ全身で感触を楽しみ感性を育む		言葉	○言葉かけややり取りの中で声や言葉で気持ちを表そうとする
食 育	食を営む力の基礎	○食べることに意欲を持つ ※年間食育計画参照		食育	○自分で食べようとする気持ちを育て、食べようとする気持ちを育て、食べることの楽しさを感じられるようにする
健康支援 保健計画別紙		○健康発育発達状態の把握 ○心身状態や家庭生活、養育状態の把握 ○年間保健指導計画 ○内科健診(年2回) ○歯科健診(年1回) ○異常が認められた時の対応 ○歯みがき指導		社会的責任	○院内保育所として院内に働く、子育て中の職員に対し、保育園の役割を確実に果たす ○地域の方々にも同様に保育所としての役割を確実に果たす。
環境・衛生管理		○施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒、安全管理及び自主点検(月1回) ○年1回きよう虫検査 ○職員の検便		職員の質の向上 研修計画	○園外研修(所長研修・新人研修・キャリアアップ研修など) ○園内研修(保育内容・感染管理・個人情報管理研修など)
災害・安全対策 事故防止 避難訓練計画別紙		○毎月の避難訓練(火災・地震・不審者対応) ○消防点検、消火訓練 ○救命講習会(AED含む)		高松幼稚園との連携	○2歳児の幼稚園体験保育の参加
保護者・地域 への支援		○育児相談事業(個人懇談会) ○法人専門職への相談事業(管理栄養士・言語聴覚士・歯科衛生士)		自己評価	○年間計画の作成と評価 ○考課表による自己評価及び所長による評価 ○保育のチェックリストによる自己評価及び所長による評価○保育所自己評価表による評価